

KX-UT248N ファームウェア

リリースノート

ファームウェアバージョン : Ver 01.167

※Ver01.136 との差分を記述しています。

■ 機能追加

1. DN(内線)またはラインが設定されたフレキシブルボタンの設定で着信音をオフとする選択が可能
※着信音をオフにした場合、着信に気付かずに発信動作を意図して受話器を取りますと着信に
応答いたします。
受話器を取った際の動作として発信優先(着信に応答しない)とする設定はございません。
2. 待機時に「不在着信」の表示をするかしないか選択が可能
3. パークエリア(番号)として“*”、“#”の登録が可能
4. 保留キー操作による転送の選択が可能
5. 保留後の動作で新たな発信とするか待機状態とするか選択が可能
6. ダイヤルプラン機能の拡張
(前バージョン : 最大 500 文字/20 パターン → 本バージョン : 最大 1000 文字/100 パターン)
7. 待機時にソフトボタン/不在ボタン/フックボタンを押下し XML アプリを起動させる機能を追加
8. 指定時刻によるプロビジョニングのタイミングをランダムにする機能を追加
9. フレキシブルボタンをラップアップの機能ボタンとする設定を追加
10. LLDP-MED への対応
11. XML アプリケーションデータの受信に使用するポート番号の変更
(前バージョン : 1~65535 → 本バージョン : 1024~49151)

■ 機能改善

1. 待機状態から待機以外(通話/発信など)の状態へ移行する際、フックスイッチ状態によって
ハンドセット/ハンズフリーを自動選択